

鳥取市議会予算審査特別委員会文教経済分科会会議録

会議年月日	令和3年3月2日（水曜日）		
開 会	午後2時20分	閉 会	午後4時57分
場 所	市役所本庁舎7階 第2委員会室		
出席分科員 (8名)	分科会長 田村 繁已 副分科会長 朝野 和隆 分科員 岩永 安子 米村 京子 西村紳一郎 平野真理子 長坂 則翁 上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	なし		
事務局職員	調査係長 中川 真理 議事係主任 橋本 圭司		
出席説明員	<p>【経済観光部】</p> <p>経済観光部長 平井 圭介 次長兼経済・雇用戦略課長 中村 理人 経済・雇用戦略課課長補佐 古網 竜也 経済・雇用戦略市場開拓係長 岩崎 勝紀 経済・雇用戦略課雇用政策係長 保木本 淳 次長兼企業立地・支援課長 大野 正美 企業立地・支援課参事 網田 正 企業立地・支援課課長補佐 西田 茂樹 観光・ジオパーク推進課長 平井 宏和 観光・ジオパーク推進課参事 米澤 裕治 観光・ジオパーク推進課課長補佐 中川 直人 経済観光部参事 漆原 利明 鳥取市関西事務所長 林 公博</p> <p>【農林水産部】</p> <p>農林水産部長 谷村 定彦 農政企画課長 山川 泰成 農政企画課課長補佐 太田 順二 林務水産課課長 山口 真二 林務水産課課長補佐 下石 直生 次長兼農村整備課長 岡 和弘 農村整備課課長補佐 大和谷雅人</p> <p>【農業委員会】</p> <p>事務局 局長 谷口 博信 局長補佐 蜂谷 知哉</p>		
傍 聴 者	2人		
会議に付した事件	別紙のとおり		

午後2時20分 開会

【経済観光部】

◆田村繁巳分科会長 引き続き、予算審査特別委員会文教経済分科会を開会します。

議案説明に入ります。議案付託前ですので質疑はございません。御承知ください。

議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆田村繁巳分科会長 それでは議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する分を議題とします。執行部より説明をお願いします。中村次長。

○中村理人次長兼経済・雇用戦略課長 経済雇用戦略課中村です。資料としましては44ページからになります。当初予算の説明ということですが、特に主なもの、それから全協で経済観光部長が説明したものは省略させていただきたいと思います。また、歳入は歳出の中で併せて説明したいということでもありますので、歳出から説明していきたいと思います。

まず、かなり飛びます。51ページからになります。一番上の地産地消推進事業費の中で食育アドバイザー派遣事業費ということで23万円を計上しております。農林水産業者や農産物加工、地域の食材を使った料理の普及に取り組んでいる人たちを食育アドバイザーとして選定しまして、小中学校や地区公民館で開設している料理教室など、食に関する研修会、講座に講師として派遣し、食と農林水産の理解を深めるということにしております。経費としましては食育アドバイザーの謝礼ということで、1回当たり5,000円ということで、46件分ということで想定しております。財源にしましては県の市町村創生交付金であります。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼企業立地・支援課長 はい。企業立地・支援課大野です。引き続きまして52ページをお開きいただきたいと思います。52ページの真ん中辺りです。制度融資資金でございます。これは後で出てまいりますコロナ融資を除いた通常の制度融資資金ということになります。前年度の当初予算と比べて大幅な減になっております。これは補正の際に御説明させていただいたとおり、コロナ融資のほうに資金がシフトしているということで、来年度は34億8,000万相当を、予算化をするという形にしております。ちなみに特定財源の内訳は貸付金元利収入でございます。

それから53ページ、制度融資資金、一番上ですけども、これが新型コロナウイルスの関連の制度融資になります。これは事業別概要の103ページ下段になります。これも補正予算の際に制度融資、詳しく説明させていただきました。来年度につきましては預託の対象となる融資、これは令和2年9月の保証申込分までということで説明をさせていただいております。件数にしまして約3,060件相当、融資実行額にしまして約672億円の融資に対する預託という形になります。これも特定財源は貸付金元利収入でございます。

続きまして下から2段目です。雇用維持・創出支援事業費でございます。これは補正予算でも説明させていただきました。大量雇用の創出補助金、これは事務系企業のまとまった雇用に対して1人20万を支給するものでございます。併せて液晶関連の支援事業もこの中に入ってお

りましたが、来年度は予算化はしないということですので前年度比大幅減という形になっております。

続きまして54ページ一番上でございます。労働力確保対策企業支援事業費ということで、事業別概要107ページの上段ということでございます。これは日本語学校を活用した企業のルート費用の2分の1を支援するというものでございます。

それから、続きましてビジネスマッチング支援事業費、一番下でございます。54ページの一番下でございます。ビジネスマッチングの支援事業につきましては事業別概要が108ページの上段になります。令和2年度は実績が2件しかございませんでした。展示会・商談会への出展費用でございますけども、令和3年度につきましては事業別概要にもございますけども、一応、全体で13件を見込んでおります。これもコロナの状況によりまして、状況次第では件数が上がらない可能性もありますけども、アフターコロナでスタートダッシュを図っていただく意味でも、展示会への出展費用を支援してまいりたいというふうに考えております。

◆**田村繁己分科会長** はい、中村次長。

○**中村理人次長兼経済・雇用戦略課長** 経済・雇用戦略課中村です。ちょっと54ページに戻っていただきまして、真ん中にあります商店街にぎわい形成促進事業費ということで480万円を計上しております。事業別概要は95ページの上段という形になっております。商店街のにぎわい創出、空き店舗活用、環境整備、コミュニティ醸成などを図る商店街が行う活動を推進して、にぎわい創出、商業、振興を図ることとしておりまして、活動支援事業ということで、商業振興につながるソフト事業に要する経費の一部を補助ということで補助率3分の2、限度額60万、440万を計上しております。また、環境整備事業ということで、来街者の利便性の向上や安全・安心なまちづくりなど、商店街振興組合等が取り組む公共性の高い環境整備に要する経費の一部を補助ということで、補助率2分の1、限度額40万円ということで合計480万を計上しております。財源としましてはふるさと納税基金からの繰入金ということにしております。

それから55ページに飛びまして真ん中辺り、国際経済交流推進事業費ということで1,503万8,000円です。事業別概要は96ページの下段ということになっております。内容としましては鳥取市国際経済発展協議会が運営します環日本海経済交流センターの運営委託費ということで、内容としましては貿易相談、外国関係者とのマッチング、翻訳、通訳、観光サポート、また、外国人留学生地域就労支援事業ということでインターンシップなども行ってもらっています。委託料として1,455万8,000円。

それからそのインターンシップに関連して、外国人留学生地域就労支援補助金ということで、こちらは48万円の補助金ということになっております。そのほか、文化芸術経済交流事業の推進ということで事業を展開することになっております。

◆**田村繁己分科会長** 大野次長。

○**大野正美次長兼企業立地・支援課長** はい。続きまして55ページ下から2段目でございます。農商工連携マッチング事業費でございます。これは農商工連携に係る6次産業化との取組を商工会議所に委託してコーディネーター等設置して、マッチング支援等を行っているものでございます。主な事業としましては、農林漁業者と商工業者のマッチング支援ということで、これ

はコーディネーターがヒアリング、企業巡回等を行って、案件の発掘や企業間同士のマッチングなどを行っております。あと、専門家のアドバイス事業としまして、食品加工とか、開発技術、そういったものを県内外の専門家に個別に相談をする、そういう事業も行っております、専門家の謝金なんかもこの事業の中で見ているということでございます。ほかにも鳥取の魅力発信事業としまして、首都圏等の消費者に向けてのプロモーションビデオの製作とか、そういった予算になっております。

◆田村繁己分科会長 中村次長。

○中村理人次長兼経済・雇用戦略課長 はい。経済雇用戦略課中村です。56ページにめくっていただきまして、2つ目、関西情報発信拠点推進事業ということで3,843万1,000円を計上しております。事業別概要は97ページの上段ということになります。大阪市中之島に設置しました麒麟のまち関西情報発信拠点の施設管理運営や施設を拠点とした各種プロモーション事業を行うということでしております。内訳としましては麒麟のまち関西情報発信拠点管理運營業務費ということで、管理運営費ということで3,500万、こちら地域商社とっとりへ委託をしております。そのほか公式ウェブサイトの運用、それから麒麟のまちプロモーション業務、それから広告による集客力の向上ということを行っております。財源としましては地方創生推進交付金を2分の1ということで充てております。1,917万4,000円であります。

それからその2つ下になります。雇用促進協議会支援事業費ということで289万6,000円計上しております。雇用創造とか、雇用促進に関係する機関及び団体により設置される鳥取市雇用促進協議会の労働需給の均衡に向けた諸課題の解決に向けた事業に対する補助をとということになっております。内容としましては若者の地元定着促進事業、高校生の地元企業バス見学会等であります。それから若者職場定着促進事業、人材確保における事業を展開する経費ということで雇用促進協議会に補助金を出しております。財源としましては国の地方創生推進交付金を2分の1ということで144万8,000円を充てております。

続きまして57ページに移ります。人材確保推進事業費ということで296万1,000円計上しております。事業別概要は99ページの上段ということになります。市内学生が県外流出しており、市内企業における人材を市内以外から確保するための事業を推進していくということとあります。また、31年の1月に締結しました鳥取市と鳥取労働局との開発協定に基づきまして介護事業だとか、障がい者就職面接会、高齢者就職相談会など、そういったものも開催をしております。事業の主な事業費としましては市内の企業PR動画作成補助金として100万円、従業員の奨学金返済について特別手当の支給等による負担軽減を設けた市内企業に対してその負担の一部を支援するというもので24万円、そのほか、企業ガイドマップ、それから先ほどの雇用協定に基づいた連携した事業、そういった事業費になります。財源としましては国の地方創生推進交付金の2分の1を充てております。

それから1つ飛んで、ふるさと産業規模拡大事業費ということで200万円計上しております。事業別概要は100ページの上段ということになります。市内のふるさと産業、和紙、陶磁器、酒造等ありますが、その振興を図るために、その産業についての既存の事業拡大に伴う設備等を行う規模拡大型の事業、それから新たに開発した商品の製造販売を行う新商品開発型の事業、

これらに対して支援を行いまして、ふるさと産業の振興を図ることとしております。規模拡大については補助率2分の1、限度額200万円ということになって、このたびは規模拡大型のみを計上しておるところであります。財源としましては市町村創生交付金ということで40万円を計上しております。

続きましてその下です。伝統工芸等後継者育成支援事業費ということで382万7,000円計上しております。事業別概要は100ページの下段ということになります。伝統工芸等の技術を伝承するというので、後継者の受入れを行う事業者と研修事業者に対して助成を行って伝統工芸の保存、活性化を図るということになります。併せて町内外に向けて情報発信して、後継者の募集を行うということにしております。後継者の受入事業者に対しては月3万円と、従事者に月15日以上研修に従事する者は1日1万円を助成します。また、県外から移住して研修を受ける事業者の家賃の一部を助成、上限月2万円を助成するといった制度であります。予算としましては今年度の継続分1件と新規事業として1件予定しております、合計382万7,000円ということで計上しております。財源としましては県のふるさと産業支援事業費ということで97万5,000円となっております。

それから58ページのほうに移ります。3つ目になります。新技術研究開発事業費ということで60万円、事業別概要では101ページの上段ということにしております。こちらのほうは産学官連携による新たな製品開発とか、新技術の実用化を支援するというので、地場産業の活性化を推進するとともに、産学官連携による起業化の取組を支援して起業化や新たな事業設立を促進するというようにしております。補助メニューとしましては調査支援型ということで補助率3分の2、限度額60万円ということでこれのみを計上しております。そのほかにも研究開発支援ということで、補助率3分の2、限度額200万円といったメニューもあります。こちらにつきましては、財源として国の地方創生交付金を2分の1充てております。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼企業立地・支援課長 はい。続きまして、起業のまち「鳥取」創造プロジェクト事業費でございます。事業別概要110ページの上段でございます。これは中心市街地等の物件をリノベーションして新しい事業に取り組まれる、そういう事業主に対する支援制度でございます。投資と融資両方の制度を持っておりますけれども、この予算につきましては融資のほうの金利を引き下げるために金利の1.7%相当額を市が負担して、事業者は0.5%の金利で融資が受けられるようにしているものでございます。これにつきましては令和元年の融資実行3件、それから令和2年度融資実行2件、それから令和3年度には3件を見込んでおまして、合わせて8つの案件に対して195万9,000円の利息の負担を予定をしているものでございます。

それから続きまして59ページの中段、県産業振興機構貸付金でございます。これは平成14年になりますけれども、TRT、新産業創造センターというのが当時ございました。そこで様々な研究開発事業とか、産業支援事業等を行っておりましたけれども、平成14年に新産業創造センターが解散をいたしまして、これらの事業を鳥取県産業振興機構が引き継いでおります。その際に新産業創造センターの土地建物と資産を産業振興機構におきまして買い取ったということによりまして、財源が大幅に不足するとうことで県と市が毎年単年度で貸付けを行って運営資

金に充てているというものでございます。令和3年度につきましては2億7,297万3,000円の貸付けをする予定にしております。特定財源は貸付金元利収入でございます。

◆田村繁巳分科会長 中村次長。

○中村理人次長兼経済・雇用戦略課長 はい。経済・雇用戦略課中村です。59ページの下から2番目になります。インターネットショップ事業費ということで、こちらはとっとり市の運営という内容となっております。事業別概要では103ページの上段ということになっております。内容としましてはインターネットショップとっとり市の運営委託ということで、カスタマーセンターに1,840万9,000円の委託料を出しております。そのほか商品発送におけるデータ連携の委託として11万9,000円、それからシステム保守の委託として94万8,000円ということになっております。財源としましては地方創生推進交付金641万2,000円と、その他としましてインターネットショップへの出店料、これは出店に係る10%の経費ということ395万3,000円、それからふるさと納税の出店料も一部をこちらのほうに充てております。

続きましてその下、一番下にあります清州国際工芸ビエンナーレ出展事業費ということで234万2,000円を計上しております。韓国清州市と鳥取市とは平成2年に姉妹都市提携を行って平成13年からは鳥取市の工芸品等を出展し、PRを行っております。この事業は1年おきに開催される事業でありまして、今年度その年に当たっているものであります。期間としては9月～11月を想定しております。出展業務としては工芸とか、和紙とか、そういった工芸品を出展することとしております。以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 はい。観光・ジオパーク推進課平井です。続きまして観光費のほうに移らせていただきます。資料の61ページ上から4つ目ですね、国際観光推進事業費でございます。事業別概要が111ページの上段になります。予算額が3,337万5,000円ということでございます。内容ですが、コロナの状況もありまして、将来的なインバウンド需要の回復を見据えた取組という前提になりますけれども、これに関連して県や山陰インバウンド機構、麒麟のまち観光局などと連携いたしまして、海外向けの観光情報の発信、それから海外プロモーション、こういったものを、必要なものというものをある程度厳選しながら実施をしようとうふうに考えております。併せて鳥取駅にございます国際観光局サポートセンターの運営を行うものでございます。主な経費としましては、先ほど言いましたサポートセンターの運営経費が約2,310万円、それから海外への情報の発信ということで主に台湾を中心と考えておりますけれども、情報発信の経費として150万円、それから台湾、欧米豪というような海外向けのプロモーションとして870万円程度の予算を主だったものとして計上しております。国の地方創生推進交付金475万円を充当しております。

続きましてその下ですね、砂像のまち鳥取推進事業費でございます。事業別概要が111ページの下段、予算額ですが1,231万5,000円となります。こちらは民間主体の実行委員会のほうで実施していただいているイベントで鳥取砂のルネッサンスというイベントがございまして、その中で砂像選手権の開催をはじめ、若手砂像彫刻家の育成や発掘だとか、あるいは砂遊びの楽しさを普及啓発するような取組をこの実行委員会に行っていただいております。今年度はイ

イベントが中止になりましたけども、幼稚園や保育園への砂遊びに関するアンケートとか、オンライン勉強会、それから風紋広場のほうにコロナの復興砂像の制作を行ったりとか、やっています。来年度も開催に向けた経費を支援させていただくということで、国の地方創生推進交付金 600 万円を充当しております。

それからその2つ下ですね、しゃんしゃん祭振興会補助金でございます。事業別概要は 112 ページの上段になります。予算額が 2,751 万 5,000 円となります。こちらは祭りを運営しております、鳥取しゃんしゃん祭振興会への補助金となります。来年度の第 57 回大会は感染予防対策を徹底し開催することを見据えた今、活動を行っております。現在、振興会が踊り子連さんを交えた検討会議やアンケート調査なんかを行いながら開催形態を検討しているような状況でございます。こちらふるさと納税基金繰入金を 784 万 8,000 円充当ということでございます。

それからはぐっていただきまして 62 ページ上から 5 つ目ですね、日本一のすなば魅力〇ごと事業負担金ということでございます。事業別概要が 113 ページ下段でございます。予算額が 680 万円となります。こちらは鳥取砂丘の特色を生かして砂丘の西側や多鯨ヶ池利活用も含めたイベントなどを鳥取砂丘未来会議が募集して審査決定した後に事業費を県と市で 2 分の 1 ずつ負担してイベントの支援を行うものでございます。上限は 100 万円ということなんですけども、補助率は 1 年目が 5 分の 4、2 年目が 3 分の 2、3 年目が 2 分の 1 というような形としております。12 月に債務負担の議決をいただきまして、来年度のイベントの募集を行ってございまして、10 団体の応募をいただきました。審査がまだ今後ということで、近日中に行う予定としております。前年度予算からの 80 万円程度の増加がございます。こちらは鳥取砂丘未来会議のホームページの年間の情報更新費、それからサーバー使用料等の経費となります。ふるさと納税基金繰入金 680 万円を充当ということでございます。

続きまして、63 ページのほうを御覧いただけたらと思います。鳥取市道の駅管理運営費でございます。予算額が 1,331 万 4,000 円ということでございます。道の駅の管理に関しましては、主に河原、白兔の道の駅になりますけど、計画的に修繕等行ってきておりますけども、このたびは令和 3 年度の増額分として、道の駅清流茶屋かわはら、こちらのエアコンの修繕、それから通路屋根の設置というものを一応予定しております。こちらは公共施設等整備基金繰入金、1,031 万 4,000 円。それから道の駅からの利益還元納付金 300 万円を充当しております。

続きましてその下ですね、砂丘管理事業費でございます。事業別概要が 115 ページの上段になります。予算額が 4,639 万 5,000 円でございます。内容ですが、こちらは鳥取砂丘の清掃や海岸漂着ごみの収集、運搬処理、それから鳥取砂丘未来会議によります景観保全のための除草活動。それから風によって堆積した砂の移動なんかの維持管理、それからゴールデンウィークを中心とします渋滞対策に係る警備員の配置や臨時バスの運行などに要する経費からなります。前年度予算から約 460 万円程度の増加になっていると思います。こちらは鳥取砂丘未来会議が砂の動きや植生の変化、海岸線の移動といった砂丘の経年変化っていうのを把握して、将来像の予測や保全・再生策を立案につなげていくようなことを目的にですけども、5 年に 1 度航空写真測量というのを行っております。このたび、この年に当たりますので、その予算が計上さ

れているものでございます。財源としては行政財産使用料10万円、それからふるさと納税の基金繰入金が636万7,000円、県の海岸漂着物の処理事業費の補助金160万円、市町村事務移譲費交付金、こちらが55万6,000円、砂の美術館の固定納付金ということで729万6,000円、砂丘周辺の渋滞対策の県のほうの負担金510万7,000円を充当をさせていただいております。こちらの会計の大きなものでいくと未来会議の関連で約1,370万ぐらい、それから渋滞対策で2,040万円、それから清掃や除草、飛砂の除去関連として約950万円というような支出経費になります。

続きまして61ページが一番下ですね、観光産業育成支援事業でございます。事業別概要が116ページの上段、予算額が200万円となります。こちらは観光事業者が行われます施設の整備や改修、それから誘客、広報宣伝活動などへの支援を目的に、22年度に支援制度を構築したものでございますけれども、本年1月議会で承認いただいた観光事業者による感染予防対策や需要回復を見据えた取組、こういったものの支援事業なんかと併せまして、観光産業の下支えを行っていきたいというふうに考えているものでございます。

続きまして64ページをお願いいたします。山陰海岸ジオパーク事業費、一番上にありますものです。事業別概要は116ページの下段ということでございます。令和3年度の予算額が2,384万5,000円となります。内容としましては山陰海岸ジオパークの保護・保全、それから市内の小学校の校外学習やガイド研修など教育的な活用というような視点、それからジオパークを生かした民間団体の取組支援や多鯨ヶ池を活用したジオツーリズムの推進、それから関連の整備、こういったものを予定しておりますし、山陰海岸ジオパーク推進協議会などと連携して行うための経費を計上しております。なお、来年度は日本ジオパーク委員会によります再認定審査の年というふうになっておりますけれども、このたび審査の形態が変更となりまして、ユネスコ世界ジオパークの認定地域につきましては、再認定審査という表現ではなくて、日本ジオパーク委員会の事前確認のための審査というような形で事前確認というふうに行われて、その翌年に予定されております世界審査に向けての課題の洗い出しや改善に向けた助言などを受ける予定としております。国の地方創生推進交付金129万6,000円、県の山陰海岸ジオパークの魅力活用総合補助金として710万7,000円、それからふるさと納税の基金繰入金1,544万2,000円などを充当しております。こちらの主な内訳としては小学校の校外学習の関係のバス借上料などの使用料として520万円、補助金負担金ということで先ほどの民間団体によるジオパークの魅力活用総合補助金280万円とか、推進協議会への負担金333万円など、全体負担金補助金合わせて1,174万1,000円、それから当課に配置しておりますコーディネーターの人件費が約280万円といったようなものになります。説明は以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 大野次長。

○大野正美次長兼企業立地・支援課長 はい。続きまして65ページでございます。債務負担行為です。鳥取市土地開発公社借入金の損失補償ということで、これは土地開発公社が行います工業団地の整備に係る用地取得費、造成費、管理費等、その借入金及び利息に対して損失補償を毎年市が行っているものでございます。令和3年度につきましては42億6,411万7,000円プラス利子に相当する額を損失補償することとしております。以上でございます。

- ◆田村繁巳分科会長 御説明いただきました。聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第6号令和3年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算（説明）

- ◆田村繁巳分科会長 ないようでございますので、続きまして議案第6号令和3年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算を議題とします。執行部の説明をお願いします。中村次長。

○中村理人次長兼経済・雇用戦略課長 はい。経済・雇用戦略課中村です。説明資料としましては66ページ、67ページということで上げております。そうしますと歳入のほうになります。市場使用料ということで、一番上、卸売市場売場施設使用料ということで、中身につましては卸売業者取扱高使用料と卸売市場業者等土地建物使用料ということで、取扱使用料については取扱高の1000分の2を上げております。見込みとしましては今年度の見込みの若干の減という形で1,489万3,000円ということ、それから卸売業者土地使用料は1,489万円を上げております。

続きまして歳出のほうになりますが、歳出のほうでは3番目の業務委託費ということで2,849万6,000円を計上しております。こちらは事業別概要では224ページの下段となっております。指定管理者の委託料として2,742万6,000円ということで、こちらにつきましては今年度の9月に債務負担計上しております。令和3年～7年度までの5年間、指定管理者としては引き続き、協同組合鳥取総合食品卸売市場ということにしております。そのほかにも除雪費として107万円ということで合計2,849万6,000円を計上しております。

それから一番下になります。50万円ということで市場活性化事業費50万円です。市場のPRイベントの開催に係る経費の助成ということで、こちら補助金として市場まつりへの開催補助ということにしております。

次をめくっていただきまして公債費ということでありますが、長期借入金元利償還金ということで239万7,000円計上しております。それと利子償還金として25万3,000円、合わせて265万円になります。こちらは平成26年に石綿除去ということで起債を借りておりますし、また、平成27年に屋根の改修ということで400万円、こちらについての元利償還部分であります。以上です。

- ◆田村繁巳分科会長 御説明いただきました。聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手をお願いします。ございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第14号令和3年度鳥取市温泉事業費特別会計予算（説明）

- ◆田村繁巳分科会長 ないようでございますので、引き続きまして議案第14号令和3年度鳥取市温泉事業費特別会計予算について執行部の説明をお願いします。平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 はい。観光・ジオパーク推進課平井です。では、引き続きまして委員会資料の69ページをお願いいたします。温泉事業費特別会計でございます。まず、

歳入から説明させていただきます。こちらまず、歳入といたしまして温泉配湯負担金 165 万円、それから温泉使用料 4,687 万 9,000 円、これに基金積立金利子、前年度繰越金を合わせまして合計が 4,855 万 2,000 円となります。なお、温泉使用料につきましては、先ほどもちょっと説明をさせていただきました、本年度は旅館の 3 施設の温泉使用料の減免等を行った関係もございいますので、この温泉使用料の算定に当たっては令和元年度の実績を基に算定をさせていただいております。

続きまして歳出のほうに移ります。資料のほうは 70 ページになります。まず、維持管理費でございいますけれども、こちら、鹿野・浜村温泉の配湯を家庭や施設に供給するために源泉ポンプ所ですとか、貯湯槽、配湯ポンプ所、それから管理システムや配管設備の修繕、施設の調査費など維持管理に要する経費というふうになります。こちらは温泉使用料を 3,709 万 7,000 円充当させていただいております。主な内訳ですけれども、料金のほうの温泉使用の検針とか、料金徴収を行います人件費、こちらが約 240 万円、それから光熱水費、温泉施設配湯所とか、ポンプ等の光熱水費、主に電気代になりますけれども、電気代として約 1,143 万円ぐらいですね。それから施設修繕費が約 680 万円、それから施設の管理や調査費として委託料が総額で約 1,100 万円といったものになります。

それからその下ですね、温泉事業基金積立金でございいます。こちら基金繰替運用で発生します利息、それから先ほどの歳入から歳出を差し引いた額を積立金として 1,144 万 5,000 円計上するものでございいます。併せて予備費を 1 万円ということでございいます。こちらは温泉配湯負担金 165 万円と温泉使用料の現年度分と滞納分などを充当しております。説明は以上でございいます。

◆田村繁巳分科会長 説明いただきました。聞き取りにくかった点、用語の確認等がある方は挙手をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議案第 15 号令和 3 年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計（説明）

◆田村繁巳分科会長 挙手がないようございいますので、引き続きまして議案第 15 号令和 3 年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計を議題といたします。執行部の説明をお願いします。平井課長。

○平井宏和観光・ジオパーク推進課長 はい。引き続きまして観光・ジオパーク推進課平井です。資料のほうは 71 ページになります。こちら観光施設運営事業費特別会計のまず歳入ですけれども、一般会計からの繰入金が 362 万 3,000 円と、それから雑入といたしましてふるさと鹿野からの利用料金収入など 293 万 9,000 円を合わせまして、歳入合計が 656 万 2,000 円というふうになります。

はぐっていただきまして 72 ページになります。歳出のほうでございいます。まず、観光施設管理費でございいます。こちらは気高町にあります遊魚センターの指定管理料 307 万 5,000 円をはじめとしまして、遊魚センターの施設修繕などに要する経費を計上しております。その他利用料ということで、先ほどのふるさと鹿野の利用料金収入の一部を充当しております。主な経費は先ほど言いました修繕費と委託料が中心になります。

それから、歳出のもう1点、温泉施設管理費でございます。こちらが施設の老朽化によって休館中になっております浜村温泉館の電気代、こちら約90万円程度なんですけども、こういったもののほかに浜村温泉館の電気設備の保安管理の維持管理に要する経費を計上しております、予算額が119万6,000円ということでございます。先ほどの観光施設管理費の535万6,000円と合わせて656万2,000円ということでございます。この温泉施設管理費につきましても、その他利用料119万6,000円を充当させていただいております。説明は以上でございます。

◆**田村繁巳分科会長** 御説明いただきました。聞き取りにくかった点、用語確認等がある方は挙手を願います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆**田村繁巳分科会長** ないようでございますので、以上で経済観光部に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済分科会を休憩します。執行部の皆さん、大変御苦労さまでございました。

文教経済委員会に切換え 午後3時5分 休憩

決算審査特別委員会文教経済分科会に切換え 午後4時20分 再開

【農林水産部・農業委員会】

◆**田村繁巳分科会長** 引き続き、予算審査特別委員会文教経済分科会を再開します。議案説明に入ります。議案付託前ですので質疑は行いません。御承知ください。

議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算（説明）

◆**田村繁巳分科会長** それでは議案第4号令和3年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分を議題とします。執行部より説明をお願いします。山川課長。

○**山川泰成農政企画課長** はい。農政企画課山川でございます。それでは農政企画課の令和3年度当初予算の概要を説明させていただきます。お配りの資料3と事業別概要で御説明を差し上げたいと思います。資料3は14ページからお願いいたします。主なものの御説明を差し上げます。

事業別概要118ページになりますが、新規就農推進事業費1,012万円でございます。こちらは新規就農者の確保育成のための経費でありますとか、就農初期の経済的支援を行うものでございます。就農舎での研修予定者は1名の体験研修の経費180万、親元就農予定者5名の支援経費410万、就農舎での研修受入経費、アグリスクール実施経費等399万6,000円が主なものでございます。財源の県支出金でございます。273万3,000円は親元就農経費の3分の2部分でこちらに充当しております。

続きまして事業別概要119ページ、新規就農営農支援事業費1,704万3,000円でございます。こちらは新規就農者の就農初期の経営支援を行うものでございまして、国の制度でございます農業次世代人材投資資金、年間150万円を5年間支給する事業でございますが、これの8名分が1,200万円、農地賃借料の助成5名分が46万7,000円、就農条件整備事業として野坂で白ネ

ギ、花きを生産している1名の方のビニールハウスの整備補助146万7,000円が主な事業というふうになります。こちらにも県支出金1,557万4,000円を充当しております。

続きまして事業別概要120ページ、共同利用施設整備等事業費1,023万7,000円でございます。本市には共同利用施設が104か所ございます。順次地元への貸付けとか、移管を進めているところでございますが、消防電気設備の点検等の維持管理経費として77万円、馬場、気高にあります水耕栽培施設の修繕経費として740万円、野坂、下味野での修繕等28万円が主なものでございます。

続きまして同じく120ページの果樹振興対策事業費でございます。2,582万8,000円でございます。こちらのこの事業は果樹の生産から出荷販売まで県市が協調して総合的に支援をするという事業でございます。梨の生産支援に1,335万8,000円、それから柿、ブドウの生産支援に1,075万7,000円支援するというものが主なものでございます。

続きまして事業別概要121ページ、みんなでやらいや農業支援事業費838万8,000円でございます。こちらは意欲ある農業者等が計画的に営農を行う事業に県市が協調して支援をするというものでございまして、鳥取市古郡家と国府の認定農業者2件の機械導入を支援する事業でございます。

続きまして事業別概要121ページ、農産物販路拡大支援事業費916万2,000円でございます。この事業は関西を中心とした大都市圏の販路拡大を目指して、地域商社とつとりを活用、連携しまして生産者自らがPRできるマルシェや商談会等の開催を行っております。また、市内の食品会社と地元の農産物をマッチングしたような新商品開発も地域商社のコーディネートで進めておりまして、そういった経費も合わせて計上しております。こちらについては、地方創生交付金を特例財源として充当しております。

続いて事業別概要122ページ、次世代農業推進事業費876万2,000円でございます。こちらについてはAIとか温泉を活用したようなスマート農業、現在推進しているところでございますが、継続事業として佐治での梨園と鹿野での温泉活用のイチゴの実証事業を現在行っております。それらの事業を進めております地域商社を中心としたコンソーシアムに対して支援を行うものでございます。地方創生交付金を充当しているほか、その他財源として農業振興基金からの繰入れを梨のスマート農業実証事業のほうに充当をさせていただいております。

続きまして事業別概要122ページ、もうかる6次化・農商工連携支援事業費1,423万4,000円でございます。こちらは農林漁業者が生産から加工販売まで行う、いわゆる6次化の初期投資の取組に対しまして県市が協調して支援をするというものでございます。福部、国府での6次化を行います生産者の機械導入に対する補助金を計上しているものでございます。

続きまして事業別概要123ページ、園芸産地活力増進事業費1,160万円でございます。こちらの事業は白ネギ、アスパラガス、ブロッコリー、ラッキョウ等のJAいなばが推奨している高収益品目の生産拡大などを県市が協調して支援するものでございます。発展成長タイプとしてJAいなばが整備する加工ラッキョウの梱包のための機械整備に935万円、中山間地域等の特産品育成としてJA佐治エリアでのハウス整備、JA高草エリアでの圃場整備等の経費225万円を計上しております。県支出金とともにこちらにも農業振興基金からの繰入金を充当し

ております。

続きまして事業別概要には掲載しておりませんが、資料3の16ページでございます。米穀品質向上対策支援事業費補助金ということで、1,929万4,000円でございます。この事業はJAいなばのライスセンター等の改修について市が3分の1を支援するものでございます。鳥取カントリーエレベーターの整備の更新483万3,000円余りですし、豊実のライスセンターの整備更新900万が主なものというふうになります。全額が農業振興基金からの繰入金というふうになります。

続きまして事業別概要124ページ、鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費1,764万5,000円でございます。高収益の施設園芸品目の生産拡大のために、鳥取県では雪に強く低コストのハウスの規格を独自に定めまして普及を図っております。国府での低コストハウス整備1件1,142万3,000円、鳥取市河内1件と国府2件でのアスパラガスの雨よけハウスの整備622万2,000円への支援を計上しているところでございます。全体で補助対象事業の3分の2を、支援をしております、県は補助金額の約85%、市の負担部分は約15%の271万5,000円というふうになっております。

続いて事業別概要124ページ、鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業1,089万6,000円でございます。鳥取県オリジナル品種とっておきでございますが、最近イチゴの生産者も増えてきてまして、大分メディアにも登場するようになりましたが、こちらの生産拡大に県市が協調して引き続き支援していくというものでございます。鳥取市六反田と鹿野町寺内の栽培ハウス2棟を対象にこの支援費を計上しているところでございます。

続いて事業別概要126ページ、和牛再生促進事業費2,632万5,000円でございます。和牛ブランドの向上と生産拡大を図るために、繁殖雌牛の導入に県市で協調で支援しているものでございます。外部からの導入に要する経費39頭分1,950万円と自家で消費する雌牛の生産に要する経費25頭分で682万5,000円を計上しているところでございます。

続きまして事業別概要127ページ、農地集積等対策事業費2,508万9,000円でございます。現在農地中間管理事業を活用しまして担い手の農地集積を進めております。順次、各集落での実質化された人・農地プランの作成等も取り組んでいるところでございます。こういった制度を活用して、農地中間管理機構に集積した際、集落や個人に支払われる協力金として1,409万4,000円のほか、関係する事務を行う嘱託職員の人件費等計上しているものでございます。

それから事業別概要129ページ、野生鳥獣被害防止事業費1億58万9,000円でございます。農作物の鳥獣被害防止を防止するための経費といたしまして、国県の財源を活用しつつ事業を進めているところでございます。内訳としてイノシシ、鹿の捕獲奨励金が5,088万円、鹿の緊急捕獲1,870万円などが主なものでございまして、前年度よりも捕獲頭数を多く見積もった上で、国の鹿緊急捕獲を新規で計上しております、前年度予算と比較しまして4,000万円程度増額をしているところでございます。

続きまして事業別概要129ページ、減容化施設整備事業費1億640万9,000円でございます。全員協議会のほうでも部長のほうから御説明させていただいておりますが、増加する有害鳥獣を減容化処理する施設の整備予算として計上しております。休止中の旧国府町クリーンセンタ

一の一角を使用しまして、減容化プラント、脱臭棟、冷凍庫を整備する予定としております。国庫支出金5,125万5,000円、公共施設整備基金からの繰入金が1,675万4,000円、起債が3,840万を財源としまして、1億640万9,000円の予算を計上させていただいております。

続きまして事業別概要130ページ、射撃場管理運営費1億6,912万1,000円でございます。こちらにつきましては、クレー射撃場の通常の維持管理経費とともに、今年度当初予算で2か年の債務負担をお願いしております切立池の汚泥除去措置の2年目の予算1億5,769万1,000円を計上して、こちらの合計の数字となっております。

以上、駆け足ではございましたが、農政企画課からは以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 山口課長。

○山口真二林務水産課長 林務水産課山口でございます。林務水産課所管の事業について主なものを説明させていただけたらと思っております。

資料の19ページ一番上でございます。市行造林維持管理費でございます。市行造林及び市有林の保育間伐等、整備を計画的に行う事業でございますけれども、令和3年度におきましては昨年度実施できませんでした青谷町澄水の8ヘクタールの間伐を行いたいと考えております。その他、森林国営保険料、森林国営の保険料207ヘクタール余りを計画しているところでございます。

続きましてはぐっていただきまして、21ページ4つ目になります。森林経営管理事業費でございます。こちらにつきましても全員協議会のほうで部長のほうから説明ございました。森林経営管理制度に基づきまして、経営管理が行われてない森林について、市は所有者の委託を受け経営管理することや、意欲や能力のある林業経営者に再委託もしくは市の管理で行うことによって、森林管理の適正化を図るものでございます。令和3年度も青谷町澄水ほかで意向調査を行う予定としております。917万7,000円予定しております。その他青谷町澄水で境界確認を行う予定としております。これにつきましては全員協議会のほうでもお話させていただきましたレーダー測量を使いまして、境界の候補図を作成いたしまして、パソコン上、いわゆる画面上で境界確認を行うという事業を本年、青谷町澄水で行いたいと思っております。その他、令和2年度実施いたしました福部町高江の経営管理集積計画作成業務、その計画作成に関わります選定委員会の開催経費等を計上させていただいております。全体事業費が3,012万5,000円でございます。

その下、下から3つ目になります。林道改良事業費でございます。事業別概要133ページでございます。林道の改良、舗装を行う事業でございますけれども、林道高路岩坪線改良工事、こちらが高路側でございます。こちらのほうで拡幅工事123メートルと舗装240メートルを実施したいと考えております。林道高路岩坪線の改良工事で、こちらは岩坪側でございますけれども未舗装区間がございます。全体1,000メートル余りのところを、まず測量設計をいたしまして、そのうち280メートル部分を舗装工事も実施したいと考えております。林道安蔵線改良工事、林道の法面が崩落いたしまして土砂が林道のほうに流入しております。こちらのほうに対応いたしまして、法面の補修等を行いたいと思っております。委託費が900万円、工事費は3,700万円、合わせまして8,036万円を計上させていただいているところでございます。

その下、造林事業でございます。森林整備を計画的かつ効率的に推進するために、国県の補助事業にかさ上げして補助するものでございます。普通林の間伐、保安林の間伐、クヌギの造林、センダンの造林、カラマツの造林、コウヨウザンの造林といった事業を計画しております。全部で454.87ヘクタールを計画しておるところでございます。その他、鹿侵入防止柵ということで新しく造林しましたところに、最近、鹿が入ってきまして、新芽を食べてしまうということで、周りに網を張りまして鹿の侵入を防ぐというものでございます。こちらにつきまして補助率県が90%、市が10%ということで、地元ゼロの補助率で1,300メートルを実施したいと考えております。予算額286万1,000円を合わせまして、トータル3,154万1,000円を計上させていただいているところでございます。

続きまして22ページに入ります。単県斜面崩壊復旧事業費でございます。事業別概要135ページでございます。国庫補助事業、斜面の崩壊につきましては治山事業とか、急傾斜地崩壊対策事業費とか、単県急傾斜地崩壊対策事業費とか幾つかございますけれども、こちらの対象とならない林地や急斜面等が崩壊した場合に、県の補助事業を合わせまして公共事業、人家等を守るための対策工事を行うものでございます。令和3年度におきましては青谷町露谷におきまして法面の崩壊に対する復旧工事、気高町宝木におきまして法面復旧を行います工事費ということで2か所を予定しておるところでございます。事業費1,330万円でございます。

続きましてその下、3つ下になりますでしょうか、森づくり作業道整備事業費でございます。事業別概要135ページとなります。作業コストの低減を図るために、作業道の整備を行うものでございます。国県の補助事業にかさ上げしておりまして、それぞれちょっと補助率は違うんですけれども、普通林で17%、保安林で5%をかさ上げいたしまして、国県と合わせますとどちらも補助率85%となりまして、地元の負担金が15%となるように補助しているものでございます。計75,400メートルを本年度は予定しておるところでございます。それと、林業専用道路の整備の補助金というのがございます。林業専用道路、作業道よりも1段上、林道よりも1つ下という中間的なところなんですけれども、10トントラックが走る程度の道とだけ思えばと思います。舗装もないところが大半でございます。こちらにつきまして、事業費から国県補助を減じた額の2分の1を補助しようということにしております。本年は1,500メートルを予定しております。財源といたしましては環境譲与税を財源としておるところでございます。それを全て含めまして事業費2,003万1,000円を計上させていただいているところでございます。

その3つ下でございます。林業・木材産業強化総合対策事業費でございます。事業別概要137ページでございます。意欲や能力のある林業経営体に対しまして、高性能機械の導入等を整備するものでございます。本年はグラップル1台、これは木をつかまえるグラップルで1台でございます。こちらのほうの購入及びグラップル1台のリース、こちらはリース物件でございます。リース物件につきましては補助率が3分の1、購入につきましては2分の1でございます。続きましてフォワーダ1台、これは木材を運搬する機械、不整地走行車とだけ思えばと思います。フォワーダのリース、こちらのほうも3分の1の補助でございます。合せて3台の支援を計画しておるところでございます。その他、特用林産物生産施設の支援ということで、

製材業者と連携いたしまして、エノキ等の特用林産物の増産を図る事業所の施設整備を応援するものでございます。こちらが事業費3億円の2分の1、1億5,000万を計上させていただいたところでございます。全体合わせまして1億6,466万7,000円でございます。

はぐっていただきまして資料23ページになります。水産のほうに入らせていただきます。水産の一番上、水産資源維持増殖事業費でございます。事業別概要137ページでございます。内水面漁業の振興及び千代川、湖山池流域の地域振興市民レクリエーション機会を増大するために、稚魚等の放流を行っているものでございます。鮎の放流事業費といたしまして1,112万円、それと溪流等の放流事業で千代川の溪流等に60万円の3分の2、その他湖山池におきまして、維持増殖事業といたしまして湖山池の漁場の整備を行う予定としております。全てで1,195万円事業費を計上させていただいているところでございます。

続きまして、その4つ下、漁業経営開始円滑化事業費でございます。事業別概要138ページでございます。新規就業者がいわゆる漁業者ですけれども、新規漁業者が新たに漁業に着任するときに、漁協が必要な漁船とか漁具を購入して、漁業者にリースを行う事業でございます。この事業に対しまして県が2分の1、市が6分の1の補助を行うこととしております。補助対象は上限の3,000万円を予定しております。今回は夏泊漁港へ1名、R4年に就業する予定ということで本年のうちに漁船等を整備を行いたいと思っているところでございます。事業費は2,000万円でございます。

資料でいきますと24ページ中段でございます。漁港施設機能保全事業費でございます。事業別概要140ページでございます。漁港施設機能保全計画に定めました対策工事を実施するとともに、対策工事に必要な実績を行うものでございます。本年度は船磯漁港の機能保全工事、これが基本施設と水域施設、いわゆる水中のことでございます。こちらのほうに5,959万4,000円、夏泊漁港の機能保全工事、基本工事、こちらのほうも水域の中、水中の中でございます。こちらのほうは100万2,000円、合わせまして6,125万円を計上させていただいているところでございます。合計欄には事務費等も含めてのところでございます。

続きましてその下、漁業研修事業費でございます。事業別概要は141ページでございます。新規の漁船を研修生として、漁業技術の指導等を行うために必要な経費を助成するものでございます。助成額は県が1,881万4,000円、市が218万4,000円で、新規4名、継続2名、計6名の支援を計画しているところでございます。全体事業費で2,099万8,000円でございます。林務水産課は以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 岡次長。

○岡 和弘次長兼農村整備課長 農村整備課岡でございます。26ページをお願いします。水道事業会計へ繰出し、予算書は229ページ、事業別概要は141ページです。9億1,808万1,000円を計上しております。水道局の経営に要する経費は経営に伴う収入料金、水道料金をもって充てる独立採算制が原則とされています。しかしながら、地方公営企業法第17条の2第1項で水道料金をもって充てることが適当でない経費や能率的な経営を行ってもなおその経営に伴う収入のみをもって充てることが客観的に困難であると認められる経費については、一般会計が負担するものとされておりまして、一般会計から繰り出しを行うものです。事業別概要に年度計

画書いてありますが、震災時応急給水拠点整備事業元利償還金 4,037 万 2,000 円、旧青谷町日置簡易水道事業等元利償還金 1,125 万 3,000 円、児童手当 781 万 6,000 円、旧簡易水道事業費特別会計分 7 億 5,164 万円、震災対策整備事業 6,360 万円、地域水道整備費分 4,340 万円を計上しております。

次にその下、環境保全型農業直接支払交付金、事業別概要は 142 ページ、998 万 9,000 円を計上しております。これは化学肥料及び化学合成農薬の使用を原則 5 割以上低減する取組とセットで地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に対する支援事業となります。3 年度は 17 団体、123 ヘクタールの取組を予定しております。

その下、農道舗装補修等事業費、事業別概要は 142 ページです。2,852 万 2,000 円を計上しております。これは農業用施設の小規模な補修修繕更新などを行う市の単独の事業となります。財源的には鳥取県しっかり守る農林基盤交付金を充てております。3 年度は緊急補修業務委託や河原町八日市のゲートの修繕、用瀬町金屋の水路の改修などを予定しております。

次に下から 2 段目からですが、県営事業負担金です。県営事業負担金が 26 ページの下から 2 つと 27 ページの上段 2 つあります。事業別概要 143 ページ～144 ページということで 4 事業、合わせまして 4,934 万 8,000 円を計上しております。3 年度は 7 地区の継続事業を行うこととしております。青谷町山根地区では圃場整備の工事を行います。ため池の関係ですが、祢宜谷地区は坂口池の改修工事を予定しております。来年度完了予定です。七谷地区の七谷池、広岡地区の広岡ため池は改修工事を継続して行います。湖山砂丘地区及び大井手古海地区は石綿管の改修工事を行うこととしております。宮ノ下大杵地区は宮ノ下頭首工の撤去工事を県が国に受託して行うこととしております。

次に 27 ページの真ん中辺ですが、排水機場維持管理費、事業別概要は 145 ページです。1,816 万 5,000 円、西円通寺と服部に 1 つずつ排水機場がありまして、その点検とか、緊急運転の委託費などです。服部排水機場において蓄電池の交換、これを 580 万円ばかりを予定しております。

28 ページの 2 つ目になりますが、危険ため池廃止事業費、事業別概要は 145 ページです。1,800 万を計上しております。これは既に農業用としての受益がなく利用されていないため池のうち、決壊した場合に人家・人命等に影響があるものについて堤を開削するなどして防災対策を図るものです。3 年度は 3 池の実施設計及び工事を予定しております。

その下ですが、農業基盤整備促進事業費、事業別概要は 146 ページです。1,400 万を計上しております。これは市営の国庫補助事業ですが、2 年度からの継続事業となります。河原町谷一木地区で圃場整備等を実施するもので、3 年度は 2 年度の実施設計が終わった湿田対策工事と圃場整備の部分の実施設計を予定しております。

その下、ため池ハザードマップ作成事業費、事業別概要は 146 ページです。270 万円を計上しております。減災対策として防災重点農業用ため池について地元参画でハザードマップを作成し、緊急時の迅速的確な避難行動につなげるために作成するものです。3 年度は 5 池の作成を予定しております。

その下ですが、多面的機能支払交付金、事業別概要は 147 ページです。1 億 9,923 万円を計

上しております。これは地域が共同で行う農業施設や農地の保全改善を支援する事業で、取組面積に応じて交付金を交付するものです。3年度は134組織2,743ヘクタールでの取組を支援する予定です。

下から3つ目になりますが、農業水利施設保全高度化事業費、事業別概要は148ページになります。3,180万円を計上しております。これは農業用施設の長寿命化を図る国の補助事業として、水利関係の施設の修繕とか改修とかを行う事業で、3年度は5地区を予定しております。用瀬町美成では樋門の改修、気高町逢坂でも大堤池の樋門を改修する予定ですし、気高の常松地区でも樋門を改修いたします。また、国府町石山堰地区では用水路を修繕いたしますし、福部の福部砂丘地区では排水槽の補修工事を行う予定です。

29ページをめくってもらいまして一番最後になりますが、中山間地域等直接支払交付金、事業別概要は148ページとなります。9,409万3,000円を計上しております。これは平地と比べて農業の生産条件が不利な中山間地域において、農業生産条件の不利を補正するため、集落等を単位に農用地を維持管理するための協定を締結して協定に基づいて農業生産活動を行う農業者等に対して協定農用地面積に応じて助成するものです。3年度は第5期対策の2年目となりますが、108組織689ヘクタールでの支援を予定しております。

農村整備課、以上です。

◆田村繁巳分科会長 谷口事務局長

◆谷口博信農業委員会事務局長 はい。農業委員会事務局谷口です。そうしますと資料3の30ページのほう、御覧ください。農業委員会事務局の平成3年度主な事業のほうを説明させていただきます。

右側のほう、内容上から3番目、総合農政推進費、こちらにつきましては農地の権利移譲でありますとか、農地転用そういったものを審議します。毎月開催しております、総会に要する経費でありますとか、年3回発行しております農業委員会便り、あと、農業委員、農地利用最適化推進委員の研修等を行う経費で515万5,000円を計上しております。特定財源の内訳の国県支出金につきましては国有農地維持管理費の1万5,000円が入っております。

続きまして31ページ、めくっていただけますでしょうか。上から2番目の機構集積支援事業費になります。こちらにつきましては全員協議会のときでも説明をさせていただきましたが、事業別概要書204ページ、年1回の農地の利用状況について農地パトロールを行い、その結果、耕作をされていない方、農家の方に対しまして利用意向調査等を行うという事業になります。特定財源の内訳につきましては農業委員会補助金事業費158万5,000円含めまして、総事業費212万円を計上しております。農業委員会事務局からは以上です。

◆田村繁巳分科会長 山口課長

○山口真二林務水産課長 林務水産課山口でございます。説明させていただきました内容について一部修正をお願いできたらと思っております。事業別概要で140ページの下段でございます。漁港施設機能保全事業費でございます。よろしいでしょうか。本年の事業予定でございますけれども、船磯漁港機能保全工事が基本と水域施設でございます。基本というのが堤防等でございます。本年は沖防波堤の改修工事、水域施設というのがいわゆるしゅんせつ工事に該当いた

します。それと夏泊漁港機能保全工事、こちらのほうも基本施設でございますけれども、こちら物揚場、いわゆるエプロンの改修工事を行う予定としております。すみません、内容を修正させていただきます。以上でございます。

◆田村繁巳分科会長 以上で終わりですかね。いいですね。

説明いただきました。聞き取りにくかった点、用語の確認等があれば挙手をお願いします。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆田村繁巳分科会長 はい。ないようでございます。

以上で農林水産部・農業委員会に関する部分を終了し、予算審査特別委員会文教経済文化会を閉会します。執行部の皆さんは御退場ください。委員の皆様はしばらくお待ちください。

文教経済委員会に切換え 午後4時57分 閉会

鳥取市議会委員会条例第28条第1項の規定に準じここに署名する。

文教経済分科会長

文教経済委員会・ 予算審査特別委員会 文教経済分科会 日程

日時：令和3年3月2日（火）10：00～

場所：7階 第2委員会室

経済観光部 (10：00～)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案（先議分）【説明・質疑・討論・採決】

議案第 24 号 令和2年度鳥取市一般会計補正予算（第12号）【所管に属する部分】

議案第 26 号 令和2年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計補正予算（第5号）

議案第 33 号 令和2年度鳥取市温泉事業費特別会計補正予算（第2号）

議案第 34 号 令和2年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計補正予算（第4号）

◎議案【説明】

議案第 55 号 鳥取市温泉事業配湯条例の一部改正について

議案第 56 号 鳥取市佐治町和紙生産伝習施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

◎報告

鳥取市佐治町木合谷川水力発電事業に係る優先交渉権者の決定について

鳥取市公設地方卸売市場の非常用照明付き蛍光灯から発見された高濃度PCB廃棄物について

鳥取市公設地方卸売市場の再整備に係るサウンディング型市場調査について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第4号 令和3年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第6号 令和3年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算

議案第14号 令和3年度鳥取市温泉事業費特別会計予算

議案第15号 令和3年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算

農林水産部・農業委員会

(経済観光部終了後)

----- <文教経済委員会> -----

◎議案(先議分)【説明・質疑・討論・採決】

議案第24号 令和2年度鳥取市一般会計補正予算(第12号)【所管に属する部分】

◎報告

気高町奥沢見地区湧水対策施設の管理について

----- <予算審査特別委員会 文教経済分科会> -----

◎議案【説明】

議案第4号 令和3年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

----- <文教経済委員会> -----

その他

令和3年度文教経済委員会視察について